

令和4年度 市長記者会見 発言要旨

令和4年8月22日(月)開催分 **第1部**

< 開催時間 > 14:00~

< 会場 > 庁議室(市役所本館3階)

< 会見案件 > ・9月補正予算案の概要について
・交通安全反射材 PR 隊の結成について

< 出席者 > 市長、副市長、総務部長、財政部長、財政課長、都市整備課副課長、まち未来創造課副課長、
ワクチン接種推進課長、商工振興課長、農政企画課長、自転車利用推進課長

< 発表内容 >

【福井市長】

記録的な大雨が頻繁に発生しており、全国のいたるところで大きな被害をもたらしております。本県におきましても、土砂災害により人々の生活や交通網は大打撃を受けました。被災されました方々には心よりお見舞い申し上げます。また、連日、多くの新型コロナウイルス感染者が確認されており、現在、感染拡大警報が発令されております。収まる兆しはなかなか見えない状況にあり、市民の皆さまは不安を感じながら夏をお過ごしのことと思います。

マスクと換気、ワクチン接種、そして、災害への備えもかねて、普段からの食料や消毒液などの備蓄をお願いいたします。

本日は、9月定例会に提出を予定しております補正予算案の概要、交通安全反射材 PR 隊の結成について、ご説明させていただきます。

今回の補正予算案は、新型コロナウイルス感染症への対応や原油価格・物価高騰への対応をはじめ、その他各種施策を推進するために予算措置が必要になった事業について計上するものです。

補正予算案の規模は、「9月補正予算案の概要」の1ページに記載のとおり、

一般会計で、18億3,946万3千円

競輪特別会計で、7,327万1千円

追加いたします。

この結果、補正後の予算総額は、

一般会計で、1,274億4,096万5千円

特別会計で、723億6,777万1千円

全会計では、2,297億6,673万6千円

となります。

それでは引き続き、補正予算案の詳細につきまして、財政部長から説明いたします。

【財政部長】

それでは、お手元の資料「9月補正予算案の概要」により、ご説明を申し上げます。

まず、1ページにつきましては、ただいま市長が申し上げました、会計別の総括表でございます。

2ページをお開きください。

これは、一般会計の財源について表したものでございます。

国庫支出金で、14億6,042万5千円

県支出金で、8,495万5千円

寄付金で、1億5,000万円

繰越金で、1億4,408万3千円

をそれぞれ追加いたします。

3ページをご覧ください。

これは、一般会計の歳出を款別に表しております。

総務費で、1億4,210万4千円

民生費で、7億6,697万2千円

衛生費で、5億4,082万6千円

農林水産業費で、1億4,095万4千円

商工費で、3,789万8千円

土木費で、1億9,124万円

教育費で、1,946万9千円

をそれぞれ追加いたします。

4ページをお開きください。

今回計上しました事業の一覧です。

6ページをお開きください。

第一に、「新型コロナウイルス感染症対応等に関する事業」としまして、まず、「感染拡大防止の強化」のため、

1番、新型コロナウイルスワクチン接種事業 4億8,358万6千円です。12歳以上の方を対象とするオミクロン株対応ワクチンの追加接種です。

拡充2番、休日急患センター新型コロナウイルス感染症対策事業 4,704万7千円です。休日急患センターにおいて、人員の増員等診療体制の拡充を図るものです。

新規3番、母子保健感染症対策事業 471万9千円です。妊産婦や乳幼児を対象とする健診業務や教室等において、感染防止対策の徹底を図ります。

次に「原油価格・物価高騰への対応」としまして、

新規4番、地域鉄道特別支援事業 2,709万5千円、及び新規5番、バス事業者特別支援事業 7,137万9千円です。公共交通事業者に対し、安定運行を継続するための支援等を行うものです。

新規6番、生活困窮者等物価高騰対策光熱費助成事業 3億4,781万5千円でございます。生活困窮者を対象に光熱費の経済的負担軽減を図るための助成です。

新規7番、保育所等給食材料費高騰対策事業 1,717万2千円です。栄養バランスや量を維持した給食の提供継続のため、私立園に対して食材料費高騰分を補助いたします。

新規 8 番、トラック事業者運行継続支援事業 3,123 万 2 千円につきましては、トラック事業者の燃料費負担軽減や、二酸化炭素排出量削減のため、低燃費タイヤの購入経費を支援するものです。

10 ページをお開きください。

新規 9 番、福いいネ!新米応援キャンペーン事業 1 億 4,020 万 4 千円です。子育て世帯を対象として福井県産新米の購入支援を行います。

拡充 10 番、公共工事設計積算に係る物価高騰対策事業 179 万 1 千円です。最新の取引価格に応じた設計積算を実施し、適正な工事執行及び品質確保等を図ります。

次に「地域経済への支援」に係る事業です。

新規 11 番、福いいネ!くん de 福井の魅力発信大作戦 2,133 万 1 千円につきましては、北陸新幹線沿線都市に対し福井の認知度向上やイメージアップを図るものです。

拡充 12 番、恐竜ホテル改修支援事業 666 万 6 千円です。市内の宿泊施設が行う恐竜ホテルへの改修に対し支援を行います。

12 ページをお開きください。

次に「新しい生活様式への対応」に係る事業です。

新規 13 番、ウイズコロナにおける中心市街地にぎわい対策事業 1,345 万 3 千円です。中心市街地のにぎわいを取り戻していくため、にぎわい対策事業を行います。

新規 14 番、公立保育所等DX推進事業 5,595 万 1 千円です。保護者の利便性の向上、職員の負担軽減のためのシステム等を導入します。

拡充 15 番 水防対策DX推進事業 4,376 万 6 千円です。水防対策におけるDXを推進し、業務の効率化と現場対応の迅速化を図ります。

14 ページをお開きください。

第二に、「各種施策を推進するための取組」です。

まず「中心市街地活性化」に係る事業として、新規 16 番、県都まちなか再生事業 3,500 万円です。まちなかの魅力向上に寄与する店舗等のリノベーション事業に対し、県と連携して支援します。

次に「地域商社」に関する事業として 17 番、福井市地域商社運営事業 75 万円です。令和 5 年 1 月より、福井銀行・福邦銀行グループが設立した観光地域商社「ふくいヒトモノデザイン株式会社」の物販部門に「福井市特産品販売部門」を位置付け、福井市と福井銀行・福邦銀行グループ双方の役割を生かしながら、共同運営体制で新たな販路開拓に取り組みます。

続いて「その他」の事業として

18 番、保育士等に対する処遇改善事業 1 億 7,680 万円、及び 19 番、放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業 2,310 万円です。

保育士及び放課後児童支援員等に対する処遇改善を本年 10 月以降も引き続き実施するものです。

20 番、ふるさと納税推進事業 1 億 1,952 万 9 千円につきましては、ふるさと納税業務に民間活力を活用し、返礼品の磨き上げや寄附者へのサービス向上を図るものです。

新規 21 番、障がい福祉システム改修事業 1,021 万円につきましては、厚生労働省が構築する障害福祉関係データベースへの対応等を行うものです。

22 番、公営競技納付金 7,327 万 1 千円です。地方財政法に基づき、公営競技納付金を納付します。

23 番、子育て世帯への臨時特別給付金支給事業返還金 9,127 万 3 千円です。国庫補助金の超過交付分を返還します。

16 ページをお開きください。

第三に、「国・県の補助金に伴う事業」です。

新規 24 番、生活困窮者物資等支援事業 468 万円です。食料や日用生活用品の物資支援等を、NPO 団体等を通じて行い、生活困窮者を支援します。

25 番、地域介護福祉空間整備等補助事業 3,997 万 1 千円です。介護施設等における防災改修事業等に対する支援です。

26 番、定期予防接種事業 風しんの追加的対策 547 万 4 千円です。抗体検査及び予防接種の実施期間を本年 3 月までから 7 年 3 月まで延長するものです。新規 27 番、福井産給食推進事業 1,946 万 9 千円につきましては、福井産食材を使用した学校給食を実施するとともに、それらを教材とした食に関する学習活動を通して、食育を推進するものです。

第 4 に、「債務負担行為の設定」です。

新規 28 番、観光交流センター管理運営事業 1 億 2,519 万円です。指定管理者による観光交流センターの運営及び維持管理に要する費用について、債務負担行為を設定します。

新規 29 番、公立保育所等 DX 推進事業 1,650 万円につきましては、14 番の事業で導入するシステムの運用に係る費用について債務負担行為を設定するものです。

新規 30 番、学校給食調理等業務委託事業 円山小学校、豊小学校 1 億 2,000 万円です。学校給食単独調理校である円山小学校、豊小学校の給食調理業務を民間に委託する費用について債務負担行為を設定するものです。

以上、令和 4 年度 9 月補正予算案の概要につきましてご説明させていただきました。よろしくお願い申し上げます。

【福井市長】

続きまして、交通安全反射材 PR 隊結成についてご説明いたします。

福井市の交通事故状況をみますと、今年の 2 月 3 日以降、昨日までの 200 日間、交通死亡事故は発生しておりません。これは、福井県警察本部に残る記録としては最長の記録とのことであり、各種関係団体の皆様の日頃の啓発活動や、市民の皆様の交通安全を意識した行動の賜物と感謝いたします。

とはいえ、近年、交通事故死者数に占める高齢者の割合は高まっており、特に夜間の歩行中や自転車利用中に犠牲となるケースが多く見られます。本市では、高齢者が交通事故に遭わない・起こさないために、交通安全教室など、さまざまな機会をとらえて交通ルールやマナーを周知するとともに、反射材を配布しその効果について啓発を行っているところです。交通安全反射材は、暗闇の中で歩行者等がいることをドライバーなどに知らせ、自分の身を守る手軽なアイテムの一つですが、なかなか身に付けていただけていないのが現状です。

そこで、本市では、反射材の着用を呼びかけるため、交通安全反射材 PR 隊を結成いたしました。グループ名は『ワン☆スター』です。この事業は、若手職員のアイデアを取り入れた、チャレンジみらい予算を活用して実施するものです。一般公募により結成した小学生 5 人組のグループが、交通安全反射材の福井市オリジナルの曲とダンスで、高齢者の方などに反射材の着用を呼び掛けていきます。8 月 25 日に開催される「高齢者交通安全大会」の席上で、初披露となり、現在、メンバーは一生懸命ダンスや歌などの練習に励んでいると聞いております。今年度、『ワン☆

スター』が様々なイベントで元気に活動をすることで、市民の皆様に反射材の着用を推進し、交通事故のない安全安心なまちを目指したいと思います。

私からは以上です。

< 質 疑 応 答 >

【広報課長】

それではただ今説明がありました案件につきまして質疑応答を行います。ご質問される際にはマイクをお渡ししますので、社名、名前の後にご質問をお願いいたします。

【日経新聞】

17番の地域商社運営事業についてお伺いします。福井銀行との合同会見の資料では地域商社という言葉が修正されて資料が配布されていましたが、予算上は地域商社運営事業でいいのでしょうか。

【市長】

はい、それで結構です。

【日経新聞】

共同運営という言葉も合同会見の資料では共同事業体制となっていました。予算上は共同運営という形になりますか。

【財政部長】

はい、予算の整理する上ではそういった表現で行っております。

【農政企画課長】

事業名はこの形で福井銀行から了解を得ています。取り組む体制としては、共同事業体制ということですが、予算取りとしてはこの事業名で了解を取ったうえで、補正を行っています。

【日経新聞】

合同会見の発表と予算資料の組み立てがずれていますが、どちらが正しいのでしょうか。

【農政企画課長】

取り組む方向性につきましては銀行側と福井市とも、同じ方向性を向いており、特になんら間違いはございません。

【日経新聞】

75万円の具体的な用途を教えてください。

【農政企画課長】

バイヤーとの商談との出張費であるとか、そういった経費に使われるものとして1月から3月の75万円分を補正で計上しています。

【日経新聞】

市から派遣する職員の活動費という理解でいいんですか。

【農政企画課長】

銀行の職員と福井市の職員の2人で活動しますので2人分の出張費です。

【日経新聞】

今後もこの事業が続く限り、このくらいの活動費を計上していくという理解でいいんでしょうか。

【農政企画課長】

商社設立について銀行側と協議をしていく中で、このような経費についての役割等を確認していますので、今後も負担金として支出していきたいと思っています。

【財政部長】

今回は1月から3月までですので、通年だとその4倍ということです。

【日経新聞】

上場企業に対しての資金の支援ということで、企業の活動費用を市から出資する形になるような気がしますが。

【財政部長】

基本、銀行側とは別会社ということと、福井の特産品を販路拡大するという業務に特化しており、その分野に対しての負担ということになりますので、上場企業への一般的な業務に対する支援とは、全く別という風に考えております。

【日刊県民福井】

地域商社の共同事業体制は、銀行側から1人、市側から一人ということですが、どのくらいの期間を考えているのでしょうか。またその体制が拡充されたり、又は別の違う形に移行したりする時期は想定されているのでしょうか。

【市長】

まずは今始めるということで、市からは1名派遣をしますが、新しい会社の方では、何人かの方が業務に携わっていただくということになるかと思います。そして、出張などをして売り込みをするようなことについては大体2人でペアになって行うということで、市と銀行の職員2人でいきます。その活動費については市が負担金として出します。そしてそれが、生産者のところへ、たくさんの需要を喚起するというような形で返ってくれば、ありがたいなと思っています。

【福井テレビ】

物価高騰対策のことで、この国の財源というのは、福井市の方で自由に振り分けてよいものという認識でいいでしょうか。

【財政部長】

はい、そうでございます。この交付金につきましては、自治体それぞれ地域課題がございますので、その地域課題に合わせた形で、創意工夫をして使っていくという風になっていますので、市はこういう形で対応させて頂いております。

【福井テレビ】

交付金の名前はなんですか。

【財政部長】

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の一部という形です。

【福井テレビ】

物価高騰対策の交付金というか、新型コロナウイルス関係の交付金ということですか。

【財政部長】

大きくくと、新型コロナウイルス関係になります。新型コロナウイルス関係の中の一部という形でございます。

【福井テレビ】

物価高騰対策について、色々新しく補正予算が組まれている中で、新米の応援キャンペーンというのは結構面白いかなと思っていて、他の色々使い道もある中で、この新米のキャンペーンにしようと思った理由と、どのような効果を期待されているか教えてください。

【市長】

今やはり、米の販売価格が高くならずに、非常に低い所で動いてきており、市では6月補正で肥料に対する支援も行いました。福井の場合、農業の従事者が人口比率の中では高い状況にありますので、ここがしっかりとした経済を支えてくれるような形にならないと、なかなか景気を下支えするという格好にはならないところもあります。課題を抜き出している中において、やはり農家に対する支援というのが今重要ということで、今回のような政策を出したということです。

【広報課長】

他に質問がないようですので、これにて市長記者会見を終了いたします。誠にありがとうございました。